

女性が輝く家庭づくり事業【高萩市】

個別事業費	194 千円
交付金額	97 千円

地域の実情と課題

- 高萩市の女性就業率におけるM字カーブは浅くなってきているものの、30歳から34歳の女性就業率は、茨城県の値を下回っている状況である。今後、人口減少社会が進むにつれて、働き手の不足や労働人口の減少が大きく懸念されることから、女性の能力は不可欠であり、幅広い分野での多様な働き方が選択できる社会の形成が必要である。
- 令和2年度に実施した市民アンケートによると、家庭生活において男女が「平等である」と感じる市民の割合は女性が25.0%と低い数値であり、男性の家事・育児への積極的な参画の啓発を推進する必要がある。

事業の特徴

夫婦で協力して家事・育児に取り組むための考え方やコミュニケーション方法を学ぶ講座に加え、復職に向けた不安の軽減や役割分担の見直しにつながる講座を実施し、夫婦・家族全体で家庭と仕事の両立を支える仕組みづくりを総合的に支援する内容とした。親子料理教室では、父親が苦手意識を持ちやすい弁当づくりを実践形式で学ぶ機会を設け、家事への参加ハードルを下げる工夫を行った。調理後には「パパママおしゃべりカフェ」を開催し、参加者同士が気軽に交流できる場をつくることで、地域における子育てのコミュニティ形成にもつなげた。男性の家事・育児参画を促すだけでなく、夫婦・家族の協力体制づくりを一体的に支援する構成としたことが特徴であり、女性が働きやすい家庭環境づくりに寄与した。

事業の効果

回答者全員が「今後、パートナーと協力して家事・育児に取り組みたい」と回答。家族参加型のプログラムとしたことで、夫婦が無意識に受け入れていた性別役割分担を見直すきっかけとなり、家事・育児に対する意識の変容が見られた。特に親子料理教室では、実践的に家事を体験する機会を設けたことで、父親の家事への参加ハードルが下がり、家庭内での協力体制の構築につながった。また、夫婦で家庭と仕事の両立について考える内容としたことで、自分の家庭に合った協力体制を考える機会となり、育児期における女性の離職防止や、女性が継続して活躍できる環境づくりに寄与した。参加者同士の交流を通じて、家庭内だけで負担や悩みを抱え込まず、地域で気軽に話ができる居場所を見つけるきっかけとなった。

目的・目標

参加者が家事・育児に対する自身の役割意識を見直し、性別にとられない新たなライフスタイルを主体的に選択できるようになることを目指す。

	目標・KPI	目標	実績
事業目標	固定観念に基づく役割分担や社会的期待から解放され、誰もが性別にかかわらず新しいライフスタイルを確立する	—	—
事業KPI	セミナー（男性の家事・育児参画）受講後アンケートで、今後家事・育児に積極的に参加すると回答した割合	75% (アウトプット)	100% (アウトプット)

連携団体

- **高萩市女性活躍推進協議会**
高萩市、高萩市商工会、JA常陸農業協同組合、高萩市金融団、高萩市学校長会、高萩市公共職業安定所、市内企業代表者、大学、NPO、市民団体
- **茨城県**
- **近隣自治体**
- **茨城県ダイバーシティ推進センター**

今後の課題

参加者の意識変容は確認できたものの、事業の効果をより広く波及させるためには、参加者層の拡大が課題である。特に、男性は積極的にセミナーに参加する層が限られており、より参加しやすい企画内容の検討や、参加につながりにくい層への働きかけが必要である。また、セミナー後の行動変容を継続的に支援する仕組みづくりや、フォローアップの強化も今後の課題として挙げられる。

事業の概要

◆男性向け家事・育児セミナー◆

父親の子育て参加を支援するNPO法人ファザーリング・ジャパンから講師をお招きし、専門的な知見を活用した、男性が参加しやすい内容のセミナーを企画・実施。

《パパのためのパートナーシップ教室》

■日時 令和7年10月18日(土) 10:00~11:30

■参加人数 11名

■主に未就学児の子を育てるパパを対象に、産後に変化する夫婦関係について、実際の調査データや講師の経験をもとに、パートナーと良好な関係を築くためのコツを学んだ。

「パパ同士で家庭の話をする機会は少ないので、良かった」との声が多く、好評であった。



《パママのための育休明けの復職教室》

■日時 令和8年2月28日(土) 10:00~11:30

■参加人数 7名

■育休明けの復職に向け、家族で生活イメージを共有し、家事・育児分担の見直しや働き方を考える機会を提供することを目的として実施。

講座では、復職後の1日の流れを具体的にイメージするワークや、家事・育児の役割分担を見直すためのタイムスケジュールの書き出しを行い、参加者が自分たちの生活や働き方を考えられる内容とした。講師や参加者同士の距離が近く、意見交換が活発に行われた。復職に対する不安が軽減された、家事・育児負担のバランスを見直す良い機会になった等の声が寄せられ、参加者満足度の高いセミナーとなった。



一緒につくろう！お弁当づくり教室 / パママおしゃべりカフェ

■日時 令和8年1月25日(日) 10:00~13:00

■参加人数 合計8組18名(保護者8名、子10名)

■家庭における家事・育児負担の偏りを見直し、父親が日常の家事に主体的に関わるきっかけをつくることを目的として、ハーモニーたかはぎと共催し「一緒につくろう！お弁当作り教室」を実施。全ての工程一つのフライパンで行える手軽さから、「簡単で作りやすい」「これなら自分でもできそう」といった声が多く寄せられた。完成した料理をお弁当箱に詰める工程も好評で、お弁当づくりのイメージが持てたとの意見があった。

試食後に実施した「パママおしゃべりカフェ」には、父親3名、母親2名が参加し、天気の良い日の過ごし方や子育ての工夫など、情報交換が活発に行われた。父親同士が気軽に話せる場となり、家事・育児への関わり方を考える良い機会となった。

